



日中韓子ども童話交流日本人参加経験者同窓会

# 広報誌 No. 1



## 目次

1. これまでの交流会の活動	3
2. これまでの日中韓子ども童話交流	4 - 5
3. 2014年度日本人参加経験者交流会の様子	6 - 7
4. 日中韓子ども童話交流日本人参加経験者同窓会設立	8
5. 現在の事務局の活動	9
6. 2015年同窓会の様子	10 - 11
7. 事務局員紹介	12 - 13
8. 子どもの未来を考える議員連盟への報告	14
9. 事務手続きについてお知らせとお願い	15



## これまでの交流会の活動



### 2010年 夢マップの構想

OB 交流会第 1 回目の開催地は、奈良。39 人が集結し、これからの日中韓の夢マップを作成した。

「Eastern Asia Union イースタン・アジア・ユニオン（東アジア連合体プロジェクト）」「WOB PROJECT」「おひさまプロジェクト」「知れば知るほど美しい～東アジアのルネッサンス～」

といった様々な夢マップが作成された。これが OB 交流会の第一歩となった。

### 2013年 夢マップの具体化

3年の歳月を経て、2013年に第2回目のOB交流会が開催された。2回目は愛知に日中韓合わせて29人の参加経験者が集まり、1回目の夢マップについてさらに話し合いを進め、より具体的な内容へと深めていった。様々な意見が飛び交い、この作業がなければ、今の同窓会設立には至らなかったと思えるほどに、重要で濃い日本人OB交流会だった。



### 2014年 夢マップの実現への第一歩

韓国の旅客船事故での自粛により、日本人のみで日中韓子ども童話交流日本人OB会が開催された。場所は日本の東北地方にある仙台。17人もの日本人参加経験者が集まり、夢マップの内容をいよいよ少しでも形にしようと話し合った。中国・韓国と交流を深める前に、まず自分たちに何ができるのか……。それは日本人参加経験者同士の輪をつなげることではないか。そう考え、同窓会の設立、SNS (facebook/twitter) の開設を行った。





# これまでの日中韓子ども童話交流



2002年 東京・兵庫・大阪・奈良



2004年 東京・岩手



2005年 東京・静岡



2006年 東京・山口



2007年 東京・長野



2008年 東京・熊本

日中韓子ども童話交流は今年で 12 回目

参加者は 計 1083 名





2009年 東京・北海道



2010年 東京・奈良



2011年 中国 (※1)



2012年 韓国



2013年 東京・愛知



2014年 宮城 (※2)

この交流会に参加したみんながまた交流できる日を

(※1) 日本での出発式で撮影。

(※2) 韓国で発生した海難事故を受け、開催中止。日本独自で、6年生を対象に「子ども童話体験交流」を実施。日本人OB会を併催。



## 2014 年度日本人 OB 交流会の様子



### 杜の都 仙台へ

8月18日、日本人参加経験者17名が仙台に集合し、久々の再開を喜び合った。今回、日本の小学生が参加した子ども童話体験交流のテーマは「歌」ということで、19日は子どもたちと共に、俳句協会新人賞を受賞し、各方面で活躍されている俳人の小島先生にわかりやすくてほどきをうけた。



### 芭蕉の気分 松島で一句

日本三景の1つである松島に行き、紺青の海に浮かぶ緑の島々の美しい景色に見とれつつ、松尾芭蕉の気分ですらを詠んだ。

その後ホテルに戻り、2010・2013年に作成された「日中韓未来交流・夢マップ」を具現化していく議論を交わした。そこでは参加者たちの白熱した意見が飛び交った。



### 新たな活動 同窓会発足第一歩

日中韓子ども童話交流日本人OB同窓会事務局（現・日中韓子ども童話交流日本人参加経験者同窓会事務局）を発足させ、運営・広報・イベント企画の方向性について意見を出し合い、同窓会の基盤を作り上げた。参加経験者各々が日中韓3カ国の架け橋を紡いでいく者として、これからどう動いていくべきかを深夜まで話し合った。



### プレゼンテーション

これからの同窓会の活動についてプレゼンテーションを行った。前日深夜まで話込んだため、みんな疲れ切った表情でプレゼンテーション当日を迎えたが、見事に大成功！多くの方からご指導をいただき、さらに今後の同窓会についての議論を深めた。今回の話し合いは基盤作りであり、これからの活動が同窓会の第一歩となるよう、たくさんの交流をしていきたい。



## 将来の日中韓友好に向けて、今、私たちにできること

2014年夏、1～3期までの日本人参加経験者が仙台に集い、未来の日中韓子ども童話交流の在り方について思いを馳せた。2010年、2013年の交流会の内容を把握し、新たな一歩について、17人で考え、見事その一歩を踏み出した。そこで決まった、事務局を作るにあたってこれからやるべき活動内容を紹介する。  
(facebookでは活動の様子動画を閲覧可能)

### 会報誌の作成

今回のように、新しく発足する日中韓子ども童話交流日本人OB同窓会事務局の周知や、日本人参加経験者の連携強化のために、定期的かつ継続的に会報誌を発行することに決めた。

### SNSのアカウント作成

facebook、twitterそれぞれのアカウントを作成し、日本人参加経験者間のネットワーク強化を目的としたツールのひとつとして利用することに決定した。この身近なSNSのアカウントを以降広めていく予定だ。



### 将来への展望 ネットワークを強化し、夢の実現へ

#### 2～3年後の目標

- 大学生になる6期生がfacebookに登録し、コミュニケーションツールとして、また連絡手段として活用できている。
- 事務局の運営が3, 4期、4, 5期というように、2期ずつ引き継がれている。
- 中国・韓国に日本人OB同窓会の活動をアピールする。
- 2000人の事業参加者がfacebookに登録完了している。

#### 10年後の目標

ガイドラインのない旅行、日中韓の交流記念日を作る、日中韓の万博を開催するなどを実現する。

# 日中韓子ども童話交流 日本人 OB 同窓会事務局

## 設立



## 日中韓友好関係発展のプラットフォーム

### 設立背景

2014年夏、例年開催されてきた日中韓子ども童話交流及びOB交流会であったが、このたび、韓国での旅客船沈没事故により延期となった。しかしながら、「日本人だけでもできることはないだろうか」という主催者の提案により、日本人参加経験者は「日中韓子ども童話交流日本人OB同窓会事務局」という組織の設立に至った。

現在は「日中韓子ども童話交流日本人参加経験者同窓会事務局」と名称を変更して活動している。

### 活動目的

日中韓の友好を築くためには日本人参加経験者として何が出来るか。その第一歩として、日本人参加経験者同士の連携を掲げた。日中韓子ども童話交流日本人参加経験者同窓会事務局は、その連携を実現するための組織だ。

参加年度の壁を越えて、日本人参加経験者のつながりを強固なものにしていくこと、そしてそのつながりを、中国・韓国へとつなげ、最後には「日中韓の友好・交流」の架け橋となることを目指す。

### SNS 始動

交流会後の交流は SNS で！

まずは日本人参加経験者から交流の輪を拡大中

facebook には交流会に参加した人たちの写真や感想、思い出を投稿しよう！

twitter でも日中韓関連の情報を発信中！

facebook 「日中韓子ども童話交流日本人参加経験者同窓会」

twitter 「日中韓子ども童話交流会」 で検索



# 2015年同窓会の様子

## ～期を超えた交流～

2015年2月21～22、仙台にて発足した「日中韓子ども童話交流日本人参加経験者同窓会」についての報告とともに、今後の同窓会の方向性を話し合うことを目的に、1期～5期の計29名が参加した。当日、オリンピックセンターに参加者が集まり、同窓会が始まった。まずはグループに分かれ、アイスブレイクタイムにて参加者が交流した。その後自由時間を設け、各自昔話に花を咲かせ、期を超えた交流をすることができた。



## ～これまでの参加経験者交流会の活動共有～

仙台で発足した日本人参加経験者による同窓会について、設立の報告と経緯を参加者全体で共有した。日中韓子ども童話交流で知り合えた友人との連絡を継続的に行うことの出来る環境づくりを行うこと、また、これまでの参加経験者交流会に参加したメンバーだからこそ伝えられることがあり、それを伝えるための活動の中心となる組織作りの重要性を確認した。

## ～新事務局員の決定～

今回の同窓会にて、新しい事務局員を決定した。立候補、他薦にて5人が選抜された。役職も正式に決定し、事務局長、副事務局長、会計・書記、広報で事務局の機能を構成することとなった。

新しく事務局員となった5名が事務局員として活動していく抱負を、同窓会に参加したメンバー、また日中韓子ども童話交流の関係者の方々に前に発表した。

ここで事務局員が決定したことで、しっかりとした事務局の体制が作られることとなった。





## ～同窓会のこれから～

### 同窓会のビジョン

「日中韓3カ国の友好・交流」

#### ○短期目標(1年)

- ・中国、韓国での同窓会立ち上げ
- ・絵本リレー
- ・ホームページ、twitter、facebook を活用した広報活動

#### ○中期目標(5年)

- ・出張授業
- ・東京オリンピックをうまく利用したイベント、広報活動
- ・日中韓3カ国の同窓会組織確立、3カ国の参加経験者が自由に連絡を取り合えるような仕組み作り

#### ○長期目標(10年)

- ・3カ国の同窓会事務局主催で参加経験者交流会、3カ国交流の場を企画運営していく。

## ～絵本リレーについて～

日中韓子ども童話交流が童話をツールにした交流であったためそれを同窓会の活動においても行っていくことが目的である。

### ○内容

- ・1年に1つテーマを決め、テーマに沿って参加経験者が、1週間に見開き1ページを目安にリレー形式の絵本を作成する。
- ・参加経験者で話を続けていき、1年を目安に1冊の本として完成させる。
- ・1年に1テーマの絵本を作成し、シリーズ化して、世界一シリーズが長い絵本として、ギネス記録を目指す！





# 子どもの未来を考える議員連盟への報告



2015年3月3日、東京にある衆議院議員会館において、私たちの活動母体である日中韓子ども童話交流の主催者「子どもの未来を考える議員連盟」の国会議員の方々に、日中韓子ども童話交流日本人参加経験者同窓会事務局の設立と2月に実施した同窓会について報告を行った。

私たちは2月の同窓会の際、その様子を見ていただこうと議員の方々を招待し、それがきっかけで議連での発表の機会を得ることができた。

子どもの未来を考える議員連盟とは、二十一世紀の日本を真剣に考え、次代を担う子どもたちが、心身ともに健全で、主体性と責任感にあふれ、徳と創造力を兼ね備えた、人類愛と国際性豊かな社会人に育つ環境を整備していくことを目的としています。

そこで3カ国のさらなる友好な関係を目指し、将来を見据えた具体的なビジョンを示した結果、議員の方々から積極的な応援とアドバイスをいただくことができた。その結果、活動にかかる費用の面などにおいて資金面での支援もしていただけることになったため、私たちの考えを行動に移すことが実現しそうだ。このことは今後、3カ国の参加経験者の交流実現への大いなる一歩であり、発足したばかりの私たちの活動を、より積極的に充実したものにするための貴重な糧となった。



## 現在の事務局の活動

昨年の事務局発足から1年がたった。1年前に具体化した活動について、さらにその内容を精査し、事務局を運営している。その活動内容について紹介する。

### 広報誌

事務局が企画した日本人参加経験者同窓会の様子や、事務局の活動などを載せた広報誌を発行する。次回は2015年12月～2016年1月頃に発行を予定している。

### facebookの運営

お互いに連絡を取り合い、普段から交流ができる場として、facebookのグループを作成した。事務局の活動を報告する場としても利用している。現在86名が参加しており、今後も利用人数を増やしていく。

### twitterの運営

気軽に情報を発信できる媒体として利用している。日中韓関連の情報を流したり、事務局のちょっとした活動の報告が主な利用である。



### 同窓会の企画

日本人参加経験者が一堂に会し、親交を深め、日中韓の未来について話し合うための同窓会を企画し、2015年2月に開催した。次回は2016年春休み頃に開催を予定している。



## 今後の目玉プロジェクト 絵本リレー

### □絵本リレーとは

絵本リレーとは、あるテーマに沿って一人1ページを担当し、どんどん物語を続けていく活動だ。例えば、Aさんの描いた1ページの次はBさんが、さらにそのBさんの続きはCさんが、という風に途切れることなくみんなで絵本を作り上げていく。このような活動を今後進めていきたいと考えている。

### □なぜ絵本リレーなのか

私たちは絵本を通じて日中韓で交流し、絵本がつかないでくれる友好や、絵本のもつ力を体験を通して実感した。だからこそ、日中韓の友好・交流をビジョンと掲げる事務局は絵本の力を借りて、交流の輪を広げていくことにした。

## 近日 絵本リレー本格始動



# 事務局員紹介



## 事務局長 3期 西日本工業大学 荒川 司

私が日中韓子ども童話交流に参加してから10年が経ちました。一昨年、子どもたちのグループリーダー（左の写真はリーダーで参加した時の韓国の小学生と韓国で再会した時の写真です。）として参加したことを機に、私は、より積極的にこの事業に関わり始めています。昨年、日本では日本人参加経験者交流会が開かれました。私たちのこれからの交流について皆で語り合い、その場で、日本人参加経験者同窓会が発足したのです。そして第一回同窓会大会を今年2月に東京で実現し、私は同窓会の事務局長に就任させていただきました。この事務局発足の最終目標は「3カ国の友好・交流」が最大の目標です。この活動をきっかけに多くの方にこの事業を知っていただくと同時に、中国、韓国のみなさんと一緒になって、私たち自身で3カ国の交流ができるように一緒に頑張っていきたいと思います。皆さんと交流会や同窓会を通じて出会えることを心から楽しみにしています。どうぞよろしくお願い致します。

## 副事務局長 4期 早稲田大学 橋本 直樹

日中韓子ども童話交流日本人参加経験者同窓会事務局で副事務局長をさせていただいてます橋本直樹です。私は小学6年生のとき第4回の交流会に参加して以来、今年を含めて3回も参加することができています。今では昨年から発足した事務局員として、3カ国の友好・交流をより深めるために何が私達に出来ることなのか考えながら携わっていていることを嬉しく思います。今後、事務局としても広報誌の発行、絵本リレーなど様々な活動をしていくので是非皆さんにも積極的に関わってほしいです。よろしくお願い致します。この活動の積み重ねが多くの方々にこの事業を知っていただけるきっかけとなることを願っています。そして同窓会で皆さんとお会い出来る日が来ることを楽しみにしています。





### 書記・会計 4期 東北大学 田中 健也

10年ほど前、日中韓の全員で楽しく交流し、一緒に絵本を作り上げたわたしたちだからこそ、今後の日中韓の関係に期待し、将来のビジョンを掲げ、何かしらの行動を起こすことが出来ると感じている。事務局の活動はそれを実現する大きな力となるものだ。そこに積極的にかかわることで、日中韓に対する思いや考えを話し合う場を作り、みんなで日中韓の友好に向けて交流していける土台を作りたいと思う。また、次世代にこの活動を引き継いでいけるノウハウの蓄積にも力を入れたいと考えている。この事業が今後も発展していき、日中韓の友好そして交流の懸け橋となるよう、全力を尽くしていきたい。



### 広報 2期 横浜市立大学 吉田 彩花

私は11年前に本事業に参加して以来ずっと続くことを願っていた。特に一昨年にOB会に参加してからは、再度日中韓で協力していくことの重要性と交流の楽しさを感じた。そこで、自身もその後日韓親善や日中友好ディスカッションなどの事業に参加するなど草の根活動を続けてきた。この経験を同窓会事務局発足へ活かしたい、と考えている。同窓会事務局に参加して、日々様々な人からの支援に感謝している。これからも日中韓子ども童話交流会が続いていくことと、同窓会がさらに盛り上がっていくように自身も努力していきたい。



### 広報 4期 上智大学 片柳那奈子

こんにちは、広報・渉外担当の片柳那奈子です。2006年に本事業に参加しました。今年の冬、初めて同窓会に参加させていただき、広報誌が届いたり楽しい交流の場を作っていただけてとても嬉しかったので今度はぜひその同窓会を支える立場に、と思い事務局でのお仕事をさせていただくこととなりました。私たち3カ国は“違い”を認め合うのはもちろんのことですが、小学生の時のように童話という“同じ”点を大切にし合い交流を深めることもできます。今後も童話をきっかけとした交流と、さらなる友好的な関係の実現のために、みなさんと協力して同窓会の活動を充実したものにしていこうと思います。よろしくお願いします。



最新の事務局の活動

2015年7月5日

今後の活動について東京にて、事務局員メンバーが集まり、この広報誌の作成や構成を考え、また今後のスケジュール等の会議を行いました。今後の活動も話し合うことができ、とても有意義な会議となりました。





# 事務手続きについてお知らせとお願い！

私たち日中韓子ども童話交流日本人参加経験者同窓会は  
facebook、twitter、ホームページを開設しています！

facebook → 「日中韓子ども童話交流日本人参加経験者同窓会」

Twitter → JCK\_OB\_NET

ホームページ → <http://jck-ob.jimdo.com>

で、検索！

## 住所が変わった方は ...

住所変更の際について事務局からのお願いです！

私たちは広報誌を年1度発行しています。また、参加経験者交流会も各期ごとに年に一度開催されており、童話交流事業に関する案内も随時郵送にてお届けしております。

しかし、みなさんの住所が小学生の時とは変わっており、お知らせ等お送りすることができなくなっていること多いのがただいまの現状です。これは、事務局としてもとても悲しいことで、ぜひ皆さんと交流を深める為にも、みなさんご自身で住所等の変更登録をお願いいたします。

進学や引っ越しにより住所が変更された場合は、「日中韓子ども童話交流」のホームページに開設されている「参加経験者情報登録フォーム」にて新しい住所の登録をお願いいたします。お手数をお掛けいたしますが、未長く多くの方との友好関係を築いていくためにも、ぜひご協力をお願いいたします。

日中韓子ども童話交流事業ホームページ内の「[https://www.douwa-kids.com/contact\\_ob/](https://www.douwa-kids.com/contact_ob/)」登録フォームにてお願いいたします。



2015年 7月10日現在



日中韓子ども童話交流  
日本人参加経験者同窓会事務局  
2015